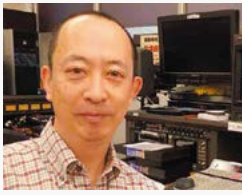


今、伝えたい私の思い ~新型コロナウイルス感染症が拡大する社会から見えてきたこと~

**ハンセン病問題を通して、人としての生き方を問う報道を続ける** 小川秀幸さん(三重テレビ放送報道制作局長)



ハンセン病問題で起こして  
しまった過ちと同じような道  
のりを、私たちは歩んではい  
ないだろうか。新型コロナウ  
イルスの感染が広まる中、誹  
謗中傷や差別的行為が起きて  
いる現実を目の当たりにし、  
そう感じています。

ハンセン病回復者に話を聞く中  
で「差別するのは人間だけだ」  
という言葉を目にし、ショック  
を受けた一方「人間だからこそ  
できることがある」という思  
いも持ちました。それは「差  
別をなくしていくために力を  
尽くす」ということ。

今、SNS上などで新型コロナウ  
イルス感染者やその家族が、  
個人情報や拡散されたり誹謗  
中傷を受けたりしている状況  
があります。かつてハンセン  
病患者の収容を目指した「無  
らい県運動」が進められ、  
一般市民から患者の居場所が  
当局に通報され療養所へ送り  
込まれた歴史がありました。そ  
れと重なるものを感じます。  
感染への不安や恐怖心が、  
予防という枠を超えて、感染  
者はもとよりその家族まで  
排除しようとする行動につな  
がっているのではないでしょ  
うか。

いじめや村八分、家族との別  
れなど筆舌に尽くしがたい  
経験を持つ回復者の皆さんは、  
口をそろえて言います。「ハ  
ンセン病問題だけでなく、社  
会の中のさまざまな差別が  
なくなってほしい」と。その  
言葉を、今こそかみしめたい  
と思います。

ハンセン病の取材に携わって  
19年。今では「ハンセン病  
回復者の〇〇さん」ではなく  
「三重の大先輩である〇〇  
さん」「親のような〇〇さん」  
に会いに行っている自分を  
感じます。優しさ、心の広さ、  
人間の深さに惹かれて…。

「回復者の皆さんを苦しめて  
きたのは何なんだ」という  
思いが、私を取材に向かわ  
せてきました。

“ハンセン病”を通して私が  
向き合ってきたのは“人間”  
でした。一方、新型コロナウ  
イルスに関わる誹謗中傷も、  
打ち込む先はスマホやパソ  
コンであっても、その向こう  
にはそれを目にして悲しむ  
“人”がいるのです。それは、  
誰かの最愛の家族や友人か  
もしれません。

私は、多くの人たちが社会  
の中で起こる問題を自分ごと  
として捉え、差別をなくす  
ために何ができるのかを考  
えてもらえるよう、これか  
らも報道活動を続けていき  
たいと考えています。

**人権コラム ▶ 同じ過ちを繰り返さないために**



昨年12月に、新型コロナウ  
イルス感染症の発生が報告  
されて以降、世界各地で感  
染が拡大し、3月11日に  
WHO(世界保健機関)は  
パンデミック(疫病の世界的  
大流行)を宣言しました。

国内でも新型コロナウ  
イルスの感染が拡大する  
中、感染者やその家族、  
医療従事者に対する差別  
的な扱い、さらには憶測  
によるデマや誤った情報  
の拡散、個人や企業への  
誹謗中傷などが起きて  
います。感染するリスク  
は誰にでもあり、決して  
他人事ではありません。  
ましてや根拠のない情報  
が拡散され、そのこと  
による偏見や差別などの  
人権侵害は決して許さ  
れるものではありません。

今から97年前の関東  
大震災の時、経験した  
ことのない災害による  
混乱や不安と、もとも  
と人々の中にあつた  
差別意識などによつて  
デマが流れ、命まで  
奪われるといった事  
件が起きました。これ  
はあくまでも一例  
ですが、私たちは  
同じ過ち

を繰り返さないために、  
あらためて歴史の事  
実から学びながら、  
今一度立ち止まって、  
今日の状況を振り返  
る必要もあるのでは  
ないでしょうか。

市や県、法務局では  
人権相談を受け付  
けています。一人  
で悩まずに、まず  
はご相談ください。



**人権相談窓口**

**津市人権課**

☎ 229-3165

FAX 229-3366

**津市教委人権教育課**

☎ 229-3253

FAX 229-3017

**みんなの人権110番**

☎ 0570-003-110

**三重県人権センター相談電話**

☎ 233-5500

**インターネット人権相談受付窓口**

HP 法務省 人権相談  検索

